



ユニバーサル上映会 in はじまりの美術館

ラジオ下神白

しもかじろ

あのとき あのまちの音楽から いまここへ

監督・撮影・編集

小森 はるか

2026年

6/5 (金) 18:30~20:30
(開場 18:00)

会場：はじまりの美術館

〒969-3122 福島県耶麻郡猪苗代町新町 4873

★日本語字幕、音声ガイド(オーディオディスクリプション) 付き上映

入場無料/申込制(定員 30名)

アフタートーク：小森はるか(監督)、アサダワタル(企画・出演)、

岡野恵未子(出演)、川村庸子(広報物編集)



出演 下神白団地の住民さん、アサダワタル、榊 裕美、鈴木詩織、江尻浩二郎、伴奏型支援バンド(池崎浩士・鶴田真実・野崎真理子・小杉真実・岡野恵未子・上原久栄)ほか 編集・整音 福原悠介
ミュージックビデオ撮影・録音協力 齊藤勇樹、長崎由幹、福原悠介 企画 アサダワタル デザイン 高木市之助 広報物編集 川村庸子 宣伝協力 植田さやか(フンクテ)
協力 一般社団法人Teco、県営下神白団地自治会、市営永崎団地自治会 ユニバーサル版 音声ガイド(オーディオディスクリプション) 制作 柴田 笙 クオリティチェック 石井健介、風船 監修 小森はるか、平塚千穂子
ナレーション 平塚千穂子 日本語字幕 制作 上野昇治 協力(音声ガイド・日本語字幕) Chupki 英語字幕 翻訳 Chul Woong Kim, Mardi Miyake
製作・宣伝・配給 ラジオ下神白 2023年 | 日本 | 70分 © KOMORI Haruka + Radio Shimo-Kajiro

www.radioshimokajiromovie.com



ラジオ、歌声喫茶、宅録、ミュージックビデオ…… 次々と変化する「伴走」のかたち

いわき市にある福島県復興公営住宅・下神白団地には、2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故によって、浪江・双葉・大熊・富岡町から避難してきた方々が暮らしている。2016年から、まちの思い出と、当時の馴染み深い曲について話を伺い、それをラジオ番組風のCDとして届けてきたプロジェクト「ラジオ下神白」。2019年には、住民さんの思い出の曲を演奏する「伴奏型支援バンド」を結成。バンドの生演奏による歌声喫茶やミュージックビデオの制作など、音楽を通じた、ちょっと変わった被災地支援活動をカメラが追いかけた。

監督は、震災後の東北の風景と人の営みを記録し続けている映像作家の小森はるか(『息の跡』『二重のまち／交代地のうたを編む』)。本作は、文化活動家のアサダワタルを中心にした活動に、2018年から小森が記録として参加することによって生まれた。

カラオケとは違い、歌手の歌う速度にあわせて演奏する「伴奏型支援バンド」。支援とは何か？ 伴走(奏)するとはどういうことか？ 「支援する／される」と言い切ることのできない、豊かなかわりあいが丹念に写しとられている。

誰かに寄り添ってもらった経験は、これから進む道の先を、明るく照らしてくれる。

植本一子(写真家)

あの震災を、こんなふうを描くことができるのか。そう驚かされた。かけがえのないふるさと、そして思い出。それをつなぐのが歌であった。 小松理度(地域活動家)

✕ @shimokajiro

fb.com/radioshimokajiro

radio_shimokajiro

www.radioshimokajiomovie.com

自主上映会募集中!

映画『ラジオ下神白 一あのととき あのまちの音楽から いまここへ』

ユニバーサル上映会 in はじまりの美術館

主催：ラジオ下神白上映会事務局、社会福祉法人安積愛育園はじまりの美術館、協力：シネマ・チュブキ・タバタ
助成：サンエス基金(公益財団法人 東京コミュニティー財団 冠基金)

●問い合わせ先

ラジオ下神白上映会事務局

メール：radio.shimokajiro@gmail.com





『福島ソングスケープ』
アサダワタルと下神白団地のみなさん

発売・販売元：一般社団法人 Granny Rideto
定価：2,300円(+税)

コロナ禍で会えないなか、住民さんとバンドがそれぞれの場所で歌と演奏を録音して生まれた一枚。映画の「その後」が詰まった全15曲。解説は寺尾紗穂(音楽家/文筆家)。

申し込みはこちらから▼

